

お買い物を通じたくらしの安心づくりをすすめます

「週一宅配」を軸に、店舗やその他のサービスを組み合わせることでお買物を支援し、安心して暮らすことができる「まち くらし」



何の数字

10140食 

夕食サポート「まいくる」の1日平均食数/年間 (P06)



32台38店舗 

「買いもん行こカー」の運行状況 (P06)

55拠点 

近隣に店舗が無い地域で開催する「地域めーむひろば」(P09)

「宅配事業」から「買い物支援事業」への変革をすすめています

週一宅配を中心に、さまざまなサービスを組み合わせた買い物支援をすすめています。夕食のお弁当を届ける夕食サポート「まいくる」は各協同購入センターに「まいくるセンター」(配送拠点)を設置し、「買いもん行こカー」(自宅から店舗まで無料で送迎するサービス)とともに宅配との一体運営を実施。最適なサービスの組み合わせを提案しています。また、これらのサービスは、くらしの見守りにもつながっています。



「まいくる」を紹介する地域担当



「買いもん行こカー」に乗車する組合員



行政と共に子育てを応援

大阪府箕面市が実施する「箕面市見守りおむつ定期便事業」を受託し、10月から訪問を開始しました。乳児のいる家庭を対象に、生後3カ月から満1歳の誕生月まで月1回、紙おむつやミルクなどを無料で配達するサービスです。子育て経験のある担当者が、商品をお届けするだけでなく、健康状態や子育ての悩み、不安がないかなどを確認し、子どもと保護者の見守りに取り組んでいます。



紙おむつやミルクなどを届ける担当者

廃食油の回収を始めました

家庭から出る使用済みの食用油を宅配の地域担当が回収し、リサイクルにつなげるサービスを全ての協同購入センターで始めました。回収した油は、油脂会社に売却し、塗料やせっけん、SAF(持続可能な航空燃料)などにリサイクルされます。また、得られた収益は子育て支援の取り組みに活用しています。



宅配の配達時に使用済み油を回収

組合員ニーズや地域性に応じた品ぞろえ・売り場づくり

コープ神吉、コープ西宮東をモデル店舗として、「メニュー提案型」の売り場づくりを広げています。4月、JR住吉駅直結の商業施設のリニューアルに伴い、シーアの売り場を改装。モデル店舗の好事例を踏まえ、お買物がしやすく、魅力のある売り場づくりに取り組んでいます。大規模改装の店舗だけでなく、既存店舗にも部分的に好事例を導入していきます。



2025年4月に改装オープンしたシーア

保障を通じたくらしの安心づくり

みんなでお金を出し合っ、困った人に役立つ助け合いの心を形にした保障サービス「CO・OP共済」。生まれてくるお子さんのための保障制度「《たすけあい》J1000円コース お誕生日前申し込み」は、生まれた日から赤ちゃんの保障が始まる制度で、多くの方にご加入いただいています。これからも保障を通じたくらしの安心を提供していきます。



店内で保障の相談をする組合員

1 お買物を通じたくらしの安心づくりをすすめます

2 つながりづくりをすすめます

3 環境や社会のためになる活動・事業モデルを促進します

子育て中の皆さんを応援しています

日本生活協同組合連合会と日本コープ共済生活協同組合連合会が合同で実施する子育て応援プロジェクト「100か月CO・OP」の開始を受け、コープこうべも取り組みをスタート。宅配や店舗、保障サービス、また子育てひろばなどをまとめて紹介するホームページを新設しました。子育てをする皆さんの声に耳を傾け、その思いを形にした商品やサービスで子育てを応援していきます。



店内で100か月CO・OPの取り組みをお知らせ 子育て応援サイト

家族みんなで楽しいお買い物

小学生までのお子さんを対象に、お買い物ごとにレジでもらえるシールを集めると、おもちゃや文具と交換できる「キッズカード」の取り組みをコープミニを除く全店舗で開始しました。ファミリーでも楽しめるお店をめざしています。



キッズカードの景品を選ぶ組合員のお子さん

組合員の皆さんに感謝の気持ちを込めて

想定を上回る物価上昇が続いていることを受け、組合員の皆さんに還元施策を行いました。お米の価格が高止まりしているため、2月～3月に宅配と店舗で「新潟県産こしひかり」「兵庫県産こしひかり」をそれぞれ5キロ3780円、3580円で供給。また宅配では「大還元祭」の企画を、店舗では「全品5%オフ企画」を1週間実施しました。



宅配、店舗で組合員還元施策を実施

地域の拠点で宅配の利用を広げています

地域の拠点を利用した買い物支援に取り組んでいます。近隣に店舗がない地域では、社会福祉協議会などと協力し、買い物の拠点となる「地域めーむひろば」を開催しています。

また地域の集会所やつどい場などを利用し、週一宅配の説明会を開催。商品の試食とともに注文から受け取りまでを体験してもらう「お試し宅配」を実施しました。体験を通じて便利さや楽しさを知ってもらうことで、ご利用のきっかけをつくっています。



週一宅配を体験する地域住民の皆さん

家計の負担を和らげるよう組合員のくらしを応援しました

物価高騰により組合員の家計負担が増える中、日本生活協同組合連合会および全国の生協とともに、「くらし応援全国キャンペーン」を実施しました。宅配や店舗で毎日のくらしに必要な豆腐や納豆、冷凍食品など200品目以上を特別価格で提供し、組合員のくらしを応援しました。



くらし応援全国キャンペーン

主食のお米を継続して供給しました

5月、米市場の混乱が続き、例年の供給数量を確保できなかったことから、政府の「随意契約による政府備蓄米」を申し込みました。安全・安心を最優先に政府のメッシュ検査やコープライスセンターでの細かな検査・点検を行い、6月下旬から供給を開始。主食であるお米を継続して供給しました。



政府備蓄米の売り場を訪れた組合員

もしものときにも役立つコープ商品を学びました

7月、住吉事務所をはじめ11会場で「ラブコープフェスタ」を開催しました。組合員、職員ら約300人が参加。「『備える』を考えよう」をテーマに、ローリングストックやポリ袋クッキングについて学びました。調理や試食も行い、普段から「備える」ことの大切さを感じる機会になりました。



ポリ袋で調理した料理を試食する参加者

「備える」ことの大切さを伝えています

ローリングストック商品の売り場を充実させ、「備える」ことの大切さを伝えています。

また、各家庭に必要な備蓄量や家庭内にある食品の栄養バランスをチェックすることで、何をどのように備えれば良いかを確認できるWebサイト『食の備え BOSAI』を新設しました。



食の備えBOSAI



使いながら備えるローリングストック商品を紹介

1 お買い物を通じたくらしの安心づくりをすすめます

2 つながりづくりをすすめます

3 環境や社会のためになる活動・事業モデルを促進します